令和7年度

事業所評価結果

小規模多機能ホームうえの

社会福祉法人
十日町福祉会

ケアホームうえの

小規模多機能ホーム うえの 事業所評価表

※ 全職員　　12名を対象とし実施したアンケート結果です。　　令和 7 年 10 月 10 日

項目		できている職員	できていない点	改善計画
初期支援	新規ご利用者の情報共有	11	新規情報を文章で職員に周知をしているが、利用前のスタッフミーティングができていない。利用者の思いとご家族の思いに相違がある場合、双方の思いやニーズの理解が難しい。	初回利用前に全スタッフで情報共有の場を設け、ケアプランの確認を行います。ご利用者、ご家族と丁寧にコミュニケーションを重ね、お一人おひとりの思いに寄り添った支援をします。
	必要な支援ができているか	12		
	利用者の不安な気持ちを和らげる	12		
	家族・介護者との関係づくり	11		
自己実現の尊重	ご利用者の目標を理解しているか	9	ご利用者とかかわる時間が不足している。「～したい」の実現に向けて具体的な支援ができていない。	ICTを活用した業務改善を行い間接業務時間を短縮し、ご利用者と向き合う時間を増やします。
	ご利用者の「～したい」の移行の把握	10		
	「～したい」の意向を尊重する関わり	8		
	関わった内容をミーティングなどで振り返っている	9		
日常生活の支援	自宅での生活環境を理解している	4	生活歴の把握ができていない方がいる。言葉にできない思いに対する支援。	ご利用者の表情や仕草など、非言語的なサインを注意深く観察することで細やかな変化をとらえます。その情報をスタッフ全員で共有し、よりきめ細やかなケアに活かします。
	ご利用者の状況に合った介護ができる	12		
	ご利用者の思いをチームで把握している	8		
	ご利用者の心身の状況を共有している	12		
	ご利用者の状況変化にすぐ対応している	12		
暮らしの支援	ご利用者の生活スタイルや人間関係を理解している	9	これまでの生活スタイルへの理解や地域でのこれまでの役割等の把握ができていない方が多い。	地域や関係者との積極的な対話を通して、本人の人生やこだわりを把握します。
	ご利用者・家族・地域の連携に努めている	10		
	サービス利用以外の過ごし方を把握している	4		
	暮らしに必要な地域資源を理解している	5		
柔軟な支援	地域資源を活用しご利用者の生活を支えている	9	地域資源がよくわからない。活用できていない。	地域の多様なサービスや資源の特性を把握し、利用者の状況変化に合わせた根拠ある支援を行います。
	「通い」「泊り」「訪問」の組み合わせが適切である	12		
	ご利用者の「変化」に早期に気付き対応する	11		
	ご利用者に合わせた柔軟な支援ができる	12		

小規模多機能ホーム うえの 事業所評価表

項目		できている職員	できていない点	改善計画
連携協働	関係機関と会議を行っている	2	イベント以外では施設関係者以外の訪問者が少ない。その他のサービス機関や自治体の会議の参加は担当者任せにしており積極的に考えていない。	開かれた施設を意識し、インターネットや広報誌を活用して地域住民や各団体へ施設の情報を積極的にアピールし立ち寄りやすい施設を目指します。ボランティアを受け入れ開かれた施設への足掛かりとします。
	自治体や地域包括センターとの会議に参加する	1		
	地域の活動やイベントに参加している	10		
	登録外の地域住民が来所する	4		
運営	事業所の在り方について職員は意見を言うことができる	6	介護職員の運営推進会議への参加、地域の方の意見の把握。事業所の在り方について意見交換ができていない。	介護職員が会議に参加し協議する機会を作り、サービスの質の向上につなげます。
	ご利用者・家族からの意見苦情を反映している	12		
	地域からの意見苦情を運営に反映している	6		
	積極的に地域と協働している	7		
資質向上	研修に参加している	12	ICTの活用や利便さの周知。	ICTを活用した家族連絡やケア記録システムで、介護スタッフの業務負担を軽減し、より質の高いケアに集中できる体制を構築します。
	資格取得やスキルアップをしている	6		
	地域連絡会に参加している	2		
	リスクマネジメントに取り組む	11		
人権プライバシー	身体拘束しない	12	個人情報の配慮欠如。介護職員のヒューマンエラーによる不適切ケアがおきている。	発生したヒューマンエラーや個人情報配慮の失敗事例を職員間で共有し、原因究明と再発防止策を話し合う場を設ける。
	虐待はしない	12		
	プライバシーが守られている	10		
	必要な方に成年後見制度を活用している	7		
	個人情報管理ができている	11		

事業所自己評価・ミーティング様式	事業所ふりかえりシート	実施日	令和7年9月10日

1．初期支援（はじめのかかわり）	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	11人	人	0人	12人

前回の改善計画

・インテーク（相談者や依頼者に対して最初に行う面接や問診）資料や各種会議録をしっかり読み込み理解する。利用開始後に担当介護職員が中心になりケア会議を行い支援の評価を行う

前回の改善計画に対する取組み結果

利用開始前の資料や担当者会議録を読み込み、利用前に状態の把握やサービスの把握に努める事が出来た。利用後ケア会議を行う事で情報を共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	8	1	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	10	0	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	6	6	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	10	1	0	12

できている点

・初めての利用の方は緊張や不安を取り除くため、積極的に声掛けを行ったり施設の説明を行ったりと関係性を気付けるように配慮している。また座席の配慮を行った。
・家族や本人の意向を確認しサービスを組むようにしている。
・本人の様子を観察し情報を共有し意見を求めたりしている。支援内容の把握に努めている。
・本人と直接話をして情報収集を行っている。
・担当が中心となりスタッフ会議やケア会議にて情報を共有した。
・担当者会議に参加し情報を得たり本人、家族の話を聞き、良い関係作りに務めた。

できていない点

・利用開始前に職員でミーティングを行う事は出来ていない。聞き取った情報を文章で伝えるようにしている。またスタッフ会議の際に情報提供している。
・新規利用者との会話や気遣い。
・ご家族と会う機会が少ない方もいたり家族と話をしたこともなく、表面的な支援しか出来ていない。家族と会う際は挨拶以外にも一言でも声掛けするようにしている。
・細かな部分までの情報が共有できていない。
・利用者の思うと家族の思いが異なる場合、どちらを優先したらいいか分からなくなる。

次回までの具体的な改善計画（200字以内）

・初回利用前に全スタッフで情報共有の場を設け、ケアプランの確認を行います。ご利用者、ご家族と丁寧にコミュニケーションを重ね、お一人おひとりの思いに寄り添った支援をします。

事業所自己評価・ミーティング様式	事業所ふりかえりシート	実施日	令和7年9月10日

2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0人	7人	5人	0人	12人

前回の改善計画

・「～したい」の実現に向け、アクションプランの展開を学び実施する

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者全員のアクションプランの実施は出来なかったが、担当を中心に実施出来る方に対して実践することが出来た。ニーズを把握することが難しい方もいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0	9	2	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	8	2	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	7	4	0	12
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	0	9	3	0	12

できている点

・地域や自宅で暮らしていけるように訪問や通い、泊りサービスを調節、ケアプランに沿って支援を実践している。個別にはなるが、他者との交流や活動も行えている。
・決定したことに対しすぐに取り組んでいる。
・興味のあることにお誘いしている。かかわった内容を職員で共有し活かせている。
・担当者会議録を確認したり、会話の中からヒントを得られるため、概ね個々のニーズを把握できている。
・自分の意思を伝えられる方は話の中でやりたいことを教えてくれる。
・ケア会議やスタッフ会議を通し振り返りを行っている。

できていない点

・家族の意向を優先してサービスを組んでしまっている。また自分の意向をはっきり意思表示が困難な方へは難しい。
・計画書の確認、把握。本人、家族のニーズの把握不足。目標を理解できていなかった。
・利用者と関わる時間の不足、ゴールに向けて具体的な支援が出来ていない。
・「～したい」が分からない利用者が多い。

次回までの具体的な改善計画（200字以内）

・ICTを活用した業務改善を行い間接業務時間を短縮し、ご利用者と向き合う時間を増やします。

事業所自己評価・ミーティング様式	事業所ふりかえりシート	実施日	令和7年9月10日

3．日常生活の支援	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2人	8人	2人	0人	12人

前回の改善計画

・午後や夕方の時間を活用し積極的にコミュニケーションをとる。そこで得た情報を職員間で共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者や家族から得た情報を申し送りや会議を通じ職員全員で共有できた。業務優先になってしまい、積極的にコミュニケーションを取ることが出来ない方もいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	3	6	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	5	7	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2	6	4	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	8	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	10	0	0	12

できている点

・本人の出来る事、出来ないことを見極め、状態に応じた適切な介護が出来ている。また体調の変化等気付ける努力はしている。
・空いた時間を活用しコミュニケーションを図っている。
・職員間でも情報の共有は出来ている。
・会話や気付きを大切に出来ている。気付いた時は他の職員へ申し送りが出来ていた。

できていない点

・生活歴の把握が出来ていない方がいる。
・ミーティング等での共有が出来ていない。
・本人の気持ちを大切にするあまり、拒否されると怯えてしまう事がある。

次回までの具体的な改善計画（200字以内）

・ご利用者の表情や仕草など、非言語的なサインを注意深く観察することで細やかな変化をとらえます。その情報をスタッフ全員で共有し、よりきめ細やかなケアに活かします。

事業所自己評価・ミーティング様式	事業所ふりかえりシート	実施日	令和7年9月10日

4．地域での暮らしの支援	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0人	7人	4人	1人	12人

前回の改善計画
・ご家族や近所、友人の方との関わりを深めていくために本人との関係性を把握する手順や工程を明確にする。

前回の改善計画に対する取組み結果
地域の催しに参加することで本人に関わる支援者の把握や関係性を理解することが出来た。またサロンに参加、新しい地域資源を活用することで本人と地域との関りを知る手掛かりとなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	9	3	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	9	2	0	12
②	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	4	8	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	4	6	1	12

できている点
・本人の人間関係の把握に努めている。また独居や高齢世帯の方は民生委員と連絡を取っている。 ・必要時は社会資源を活用し対応している。地域資源の知識も以前より増えた。 ・地域のイベントや行事に積極的にかかわっている。 ・地域の事は理解できており、個人情報等にも気を遣えている。地域や本人との関係性を考慮し話を傾聴している。送迎時地域の方と出会ったら会釈する等対応している。 ・家族との連絡ノートで自宅での過ごし方がよくわかった。 ・担当している利用者の生活について理解するように努めた。個票等から情報収集を行った。

できていない点
・これまでの生活スタイルへの理解や地域でのこれまでの役割等の把握が出来ていない方が多い。また地域内の人間関係の理解や把握も同様。 ・すべての利用者の地域との関りや人間関係を理解できていない。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・地域や関係者との積極的な対話を通して、本人の人生やこだわりを把握します。	

事業所自己評価・ミーティング様式	事業所ふりかえりシート	実施日	令和7年9月10日

5．多機能性ある柔軟な支援	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3 人	8 人	17 人	0 人	12 人

前回の改善計画
・小さな変化でも話し合ったことは会議録に残す。会議に参加できなかった職員は会議録を読むことでその根拠を把握する。

前回の改善計画に対する取組み結果
些細な変化や体調、状態について共有できた。また支援の方法や周知についてケア会議やスタッフ会議を通し検討し分かりやすいように会議録を作成した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	8	3	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	8	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	7	1	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	8	1	0	12

できている点
・社会資源を活用している。 ・本人の状態に応じたサービスを提供できている。当日の体調や都合に応じて対応出来ている。 ・情報共有でき、意見を出し合っている。支援する事も出来た。 ・会議録は根拠等も含めて記録し、読み手が分かりやすいように記録している。 ・訪問支援時の柔軟な対応。

できていない点
・話し合った内容を会議録にせず、申し送りのみにしている事も多い。 ・会議に参加できないと情報も温度差を感じる。 ・服薬支援時に事故報告がある。 ・地域資源（インフォーマルサービス）がよくわからない。活用できていない。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・地域の多様なサービスや資源の特性を把握し、ご利用者の状況変化に合わせた根拠ある支援を行います。	

事業所自己評価・ミーティング様式	事業所ふりかえりシート	実施日	令和7年9月10日	

6．連携・協働	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	6人	3人	2人	12人

前回の改善計画
・自治体や地域住民から相談や紹介を得られるような関係を築くために地域行事や会合に積極的に参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果
地域の行事へ積極的に参加出来た。また施設の行事を計画し実施することで関係性を築けるようにした。行事以外地域の方が来所することが少なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	1	4	6	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	2	9	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	9	2	0	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	4	6	2	12

できている点
・他サービス機関と密に連絡を取り合い、本人の状態や取り巻く環境を共有できている。 ・地域の集まりや行事に積極的に参加している。また防災訓練等で地域の方の意見を聞く事が出来た。 ・施設が地域に出ていくだけでなく、ランチ会や防災訓練等来てもらう行事を計画している。 ・交代でバス停掃除やサロンへ参加している。

できていない点
・イベント以外では施設関係者以外の訪問が少ない。 ・担当者任せにしており、自分で積極的に考えていない。 ・自治体や包括、他事業所等の会議には参加していない。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・開かれた施設を意識し、インターネットや広報誌を活用し地域住民や各団体へ施設の情報等を積極的にアピールし立ち寄りやすい施設を目指します。 ボランティアを受け入れ、開かれた施設への足掛かりとします。	

事業所自己評価・ミーティング様式	事業所ふりかえりシート	実施日	令和７年９月10日	

７．運営	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	3人	6人	2人	12人

前回の改善計画

・運営推進会議の内容を職員間で共有し、協議する場を作る。

前回の改善計画に対する取組み結果

職員自体運営推進会議に参加する機会はなかったが、会議録を観覧することで内容を周知できた。職員個々の施設運営への意識が薄い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	5	4	2	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	9	0	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	4	5	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	6	4	1	12

できている点

・運営推進会議の方の意見や家族からの意見、防災訓練等から様々な方からの意見を尊重し環境や業務の変更を検討している。
・利用者、家族からの意見は共有し対応を統一するようにしている。また業務にも反映できた。
・運営推進会議の会議録を確認し内容の把握に努めている。
・送迎時地域の方がいた場合、挨拶するようにしている。

できていない点

・運営推進会議への参加、地域の方の意見の把握。会議録を読む程度で発言はしていない。
・職員の意見を運営に反映させること
・地域の方に合う機会が少ない。利用者以外の地域の方とのコミュニケーション不足。
・事業所の在り方について意見交換が出来ていない。協議したことがない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・介護スタッフが会議に参加し協議する機会を作り、サービスの質の向上に繋げます。

事業所自己評価・ミーティング様式	事業所ふりかえりシート		実施日	令和7年9月10

8．質を向上するための取組み	氏名-	小規模多機能ホームうえの全職員	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	6 人	5 人	1 人	0 人	12 人

前回の改善計画
・ヒヤリはっとを積極的に記録し、定期的に再発防止のモニタリングを実施する

前回の改善計画に対する取組み結果
ひやりはっとを活用し事故防止やサービスの質の向上に努める事が出来た。モニタリングの方法も工夫し定期的に実施出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	6	6	0	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	3	4	2	12
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	0	10	12
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	1	10	1	0	12

できている点
・利用者個々のリスクを承知し、環境を整えサービスを調節している。 ・ICTの活用を行い、家人への細かな報告や情報共有を行えるように取り組んでいる。 ・研修会に参加している。 ・ひやりはっとのモニタリングを確実に行えるように工夫している。また気になったことやおかしいと思ったことは相談し、ひやりはっととして取り上げ、モニタリングを行っている。 ・行動する前にどうしたら危険かを考え対応している。

できていない点
・ICTへの周知や利便さの周知。 ・研修会への参加。資格取得等自分自身のスキルアップへの挑戦。 ・同じような内容のひやりはっとが続く時がある。対策の見直しが必要な場面がある。 ・地域連絡会への参加。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
ICTを活用した家族連絡やケア記録システムで、介護スタッフの業務負担を軽減し、より質の高いケアに集中できる体制を構築します。。	

事業所自己評価・ミーティング様式	事業所ふりかえりシート	実施日	令和7年9月10日	

9．人権・プライバシー	氏名	小規模多機能ホームうえの全職員	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2	8	2	0	12

前回の改善計画

・利用者の問題をとらえるのではなく、その行動に至る原因を考え支援する。

前回の改善計画に対する取組み結果

問題行動の背景を考え、職員で検討し支援、対応出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	10	2	0	0	12
②	虐待は行われていない	9	3	0	0	12
③	プライバシーが守られている	4	6	2	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	6	2	3	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	7	1	0	12

できている点

・時々不適切ケアはあるが、身体拘束、虐待はなし。昨年度と比べてもスピーチロックや不適切な声掛けも減少している。丁寧な声掛けを心掛けている。
・問題行動に対し職員同士考え、意見を出し合えている。行動に至る要因を分析し家族へ報告、相談し支援を行えている。
・人権について考えプライバシーの尊重を心掛けている。また入室時のノックや入浴時、排泄援助時等羞恥心にも配慮出来ている。
・意思疎通の難しい方の言動を見て、考えて支援している。
・スタッフ会議にて自分自身のケアの振り返りを行っている。

できていない点

・プライバシーについて、リビングで他者の情報を配慮なしに言ってしまう。
・不適切な対応時ではうっかりミスや対応の遅さから利用者に不快な思いをさせてしまう事があった。
・「待っててください」の声掛けが多くなってしまう。
・成年後見制度の活用。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・発生したヒューマンエラーや個人情報配慮の失敗事例を職員間で共有し、原因究明と再発防止策を話し合う場を設けます。